

2022年3月9日 第411号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

市民を犠牲にするな！ロシアはただちにウクライナから撤退せよ！
核兵器NO！ 戦争NO！ 憲法9条で戦争止めよう！

憲法共同センターは3月9日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行いました。10団体22人が参加し、「憲法改悪を許さない全国署名」は20人の方が協力してくれ、日本在住のポーランド人の女性も署名してくれました。カンパも寄せられました。憲法9条の値打ちが光っています。「ロシアはウクライナから撤退せよ！」「改憲許すな！」の世論を広げていきましょう。

全国革新懇代表世話人の矢野裕(ゆたか)さんは、「ロシアは満州を侵攻した日本と同じことをしている。戦争は人を殺し、殺されることになる。一人ひとりに人生があるということにもっと想像力を働かせるべき。戦争をさせない努力が大切」と強調しました。

日本原水協事務局長の安井正和さんは、「原爆が投下された広島、長崎があり、憲法9条を持っている日本が、ロシアはウクライナから撤退せよと声をあげるべきだ。核兵器のない世界は国際政治の流れ。日本はただちに核兵器禁止条約を批准せよ」と訴えました。

全労連女性部部長の舟橋初恵さんは、「私たちは憲法9条に守られているからこそ平和な毎日が過ごせる。全国津々浦々からSNSも使い、不毛な戦争はやめよ、ロシアは侵攻をやめよと声をあげよう。憲法改悪に反対する署名にご協力を」と呼びかけました。

全日本民医連事務局次長の木下興さんは、「いのちが大切、憲法を守り・いかすことが大切。憲法をいかした外交が求められている。武力で平和は守れない」と訴えました。

農民連の町田常高さんは、「ウクライナとロシアは世界の小麦の3割を輸出しており、小麦が高騰している。日本の食料自給率は37%で小麦の自給率は13%。国民を守るといって軍備強化という話になるが、この自給率で国民のいのち・くらしを守れるか。戦争反対、9条守れ、自立可能な農業の実現を求めて運動をすすめ、参議院選の争点に押し上げたい」と訴えました。



●ロシアのウクライナ侵略糾弾！即時撤退を！ #0311 新宿大アクション

3月11日(金) 18時 新宿中央公園「水の広場」集合 出発集会 18時30分 デモ出発
総がかり行動実行委員会が呼びかけた行動です。ご参加ください！